

# あつけし未来会議〜まちづくりワークショップ〜

町民の皆さんが厚岸町の現状と課題、『めざすまちの姿』や今後の方策について意見を出し合い、集約した意見や提案などを総合計画に反映させるとともに、町民の皆さんのまちづくりへの興味関心を醸成するため、昨年9月から12月に『あつけし未来会議〜まちづくりワークショップ〜』を全4回開催しました。今月号では、その中から主な内容を抜粋してお知らせします。

詳細については、こちら！



## 第1回 9月30日開催

### 町の現状と課題、まちづくりへの要望

#### 人口減少とそれに伴う担い手の確保

厚岸町では人口減少が進んでおり、町で育った若者も就業などで都市部へ転出したまま戻ってこない状態にある。その中で、厚岸町の強みである第一次産業も後継者不足に苦しんでいる。第一次産業以外の産業の育成なども視野に入れながら取り組みを進めていく必要があると考えられる。町外から転入してきた人が住みやすいように、排他的になるのではなく歓迎していく環境づくりをしていければよいと思う。

#### 子育て環境の充実

遊具が十分でなかったり、動物のフンなどで衛生環境が整っていないなど、町内の公園の整備が進んでおらず、子どもを外で遊ばせることが難しい状況にある。

また、大学進学までの金銭的な支援が必要ではないかと思う。小中学校の教師が厚岸町に住んでおらず、学校との関わりが希薄化してしまっている。

#### 防災対策

海に面しているため、防災施設を強化するべきだと思う。地震が発生したときに不安である。

#### 観光やふるさと納税など町外との関係活発化

宿泊施設が少ないため、厚岸町に観光で来ても日帰りで帰ってしまう。温泉などの宿泊施設

を増やしたり、サウナ、キャンプ場、長期滞在できる施設を増やしていくべきだと思う。

また、交通面では駅から観光地までの移動が遠いと感じる。SNSなどの情報発信力が弱く、人材を育成したり外部からノウハウを入手するような取り組みが必要だと思う。

#### イベントの充実

厚岸町は、厚岸大橋で隔てた町の構造や大きな港、道路が広いことが特色としてある。牡蠣まつり以外にも漁業体験会や特産品の発信を目的とした新しいイベントを始めたり、サイクリングや散歩コースを設定し、マラソン大会などが開催できれば良いと思う。

#### その他

夜遅くまで営業している飲食店が少なく、仕事終わりに集ま

## 第2回 10月21日開催

### 自然と調和し、だれもが安全・安心で快適に暮らせるまち

空き家の増加やその利活用、道路が冠水するなど整備が不十分な状況、町内の情報通信基盤の弱さについての課題が挙げられました。

これらの課題について、厚岸町ですでに取り組みを進めている空き家バンクの周知、財源確保がやるべきこととして挙げられました。

ほかに、遊び場としての公園の未整備（少ない、衛生環境がよくないなど）や、公共交通の利用者数の減少やそれに伴う便数の減少など、その利便性についても課題として挙げられ、公共交通の利用促進や公園の管理人を配置するなどの解決策が提案されました。

## 第3回 11月11日開催

### みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち

町内の医療体制が不十分ため専門的な医療や高度医療が近隣市町に行かないと受診できない、福祉を支える人材の不足、社会保障に関する制度の周知不足についての課題が挙げられました。

医療体制の整備についてはオンライン診療の導入、福祉人材の確保については待遇改善や介護ロボットの

導入、SNSを活用した制度の周知などの解決策が提案されました。

地域や自分ですることについては、町民同士が積極的にコミュニケーションを取れる環境づくり、行政や地域、民間等組織を越えた情報共有などが挙げられました。

#### 未来を切り拓く力を育み、豊かな人間性にあふれるまち

学校教育において町内の歴史や文化、食文化に触れる機会が少ないことや生涯学習の機会の少なさ、スポーツ施設などの活動場所が少ないこと、町外から競技大会等を目的に来町する人が少ないことが課題として挙げられました。

また、文化遺産やお祭りなどの地域の文化の継承などについても課題とされています。

それぞれの課題に共通した解決策として挙げられたのは、町内で外国語やスポーツを指導できる人材を擁するなどの人材確保策です。

ほかに、文化の継承については町の歴史や文化に詳しい町民の情報共有、競技大会などについては、競技大会の誘致や町内活動のSNS等を活用した広報などが挙げられました。

## 第4回 12月2日開催

### 多彩な資源が輝き、活力と魅力にあふれるまち

漁業を中心とした第一次産業も漁

獲量が減少傾向にある中、町外に若者が流出してしまい、産業の担い手が不足している状況が課題として挙げられました。

また、観光については宿泊施設が少ないことから、通過型の観光が多く、観光による町の収入が少ないこと、桜の名所などの観光資源が少ないことが課題として挙げられています。

産業の担い手を確保するための解決策として、農業や漁業などへの積極的な情報通信技術（ICT）の活用（担い手の負担軽減）、職業体験会や説明会の実施、地域おこし協力隊などの町外の人材の活用が挙げられました。

また、観光について、レンタサイクルや宿泊場所の整備、宿泊事業者との連携による地域クーポンの発行などが解決策として挙げられました。

**多様なつながりにより、共に生き、共に創り上げる持続可能なまち**

町ホームページは情報量が多く適切な情報が入手できない、自治会活動などの地域コミュニティの弱体化、移住促進のためのPR不足などが課題として挙げられています。

町ホームページについては、SNSとの連携による情報の整理や行政手続のオンライン化、自治会活動への積極的な参加、町の情報などのSNSでの発信が解決策として挙げられました。

ることができる場所が少ない。また、タクシーが20時頃には営業を終えてしまうことも難点としてある。町在住のスポーツ選手を巻き込んだ取り組みを検討したり、独身の人たちが交流できる機会の創出、高齢者が町内で楽しく過ごすことができる環境づくりも必要だと思う。



5つの分野で共通している解決策として、町内の人材の活用や町外への積極的な情報発信などが挙げられており、今後それらの案を具体化するためには、行政や民間、町民と連携し取り組みを進めていくことが重要です。

また、分野を越えて相互に関連する解決策も含まれていることから、担当課を越えた検討も進めていくことが求められます。

皆さんは『まちづくりワークショップ』で生まれた意見をどのように感じましたか。

町民の皆さんが政策形成に参画できる機会を創出する取り組みとして実施しましたが、非常に活発な意見交換の中、『めざすまちの姿』や『めざすまちの姿』の実現に向けて、『町民ができること』『地域・団体ができること』『行政がすべきこと』などを町民の皆さんとともに、具体的にまとめあげることができたと考えています。

なお、今回紹介した内容のほかにも、各グループごとに多種多様な意見が出されています。

詳細は、厚岸町のホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。

